

# G3 のツイッター その 47

## 烈剛河内 竹井 保満

本誌の一月号でナポレオンの率いる軍隊 69 万のモスクワ遠征について書きました。すると、産経新聞がナポレオンの軍隊 27 万が冬将軍に負けてパリに帰り着いたのは僅か 5 千とのエッセーが載りました。早速抗議して一筆書いてもらい一件落着きました。

不思議に思うのは、攻めたのはフランスとドイツですが、どの戦いもイギリスとの闘いのためにモスクワを攻めています。イギリスの国土は、我が国より小さい島国ですが、産業革命の発祥の地でもありますし、海外への進出にしても、スペイン・ポルトガルに航海術が遅れて船出しましたが、世界の 70 カ国を所有する領土大国に申し上がり多くの富を本国に掻き集めました。一説によりますと、日露戦争はイギリスが東洋の植民地の利権を守るために、日本と同盟を結び援助してロシアと戦わせたとの説も事実の様に思われます。西洋史は知りませんが面白そうなので、何とか時間を作って読んでみたいと思っています。

一月五日のジムの初めてのトレーニングに参加しました。汚い話で恐縮ですが、トレーニング中にお知りのあたりが冷たくて、気持ちが悪いのですが、ジムでお尻を見ることも出来ず、早々と帰りました。下着に血がベトベトと着いていました。この出血は一週間続きました。妻の直腸がんの手術に立ち会ったこともあり、これは大腸がんだと思い込み意を決して病院に行き大腸がんの検査を予約しました。

検査の前日、夕食は消化の良い物を早めに食べ、当日は朝食と昼食を抜き、9 時から検査の準備に入りました。下剤の液を 2 リットルと水を 3 リットル飲みました。看護師さんが言うには、便に固形物が出るうちは内視鏡検査は出来ないとの事なので、延々 5 時間がんばりましたが、水だけの便には中々なりません。当日最後の検査の順番が来たので、検査を受けました。結果はポリープも潰瘍も無く綺麗なおなかだと診断され、痔の薬を処方してもらって帰りました。

今年こそ昨年壊した体を立て直し、九十歳代の記録を作ろうと思った矢先に詰まらないアクシデントに見舞われて出遅れました。寒さも例年になく厳しく着膨れして行動も緩慢になり意のままになりません。

童謡の「ハールよ来い、ハーヤク来い」と歌いたい今日この頃です。